

## プロトタイプシステム

### B-type

エンタープライズ/IDCを想定  
1ラックで128TB を実装可能

8 ブレード in 1 シャーシ  
2TBx 8 = 16TB

HDD Size: 3.5", 1" height  
I/F: Serial-ATA  
Capacity : 400GB

8 シャーシ in 1 ラック.  
16TB x 8 = 128TB

5 HDD on 1 ブレード:  
400GB x 5 = 2TB

#### 制御用コンピュータIPC60GII仕様

- ・CPU 90nm Transmeta efficeon 1GHz
- ・MEM 512MB or 1GB
- ・DISK I/F Sil3124 (S-ATAII x 4port)
- ・LAN 1Gbps x 2, 100Mbps x 1
- ・VGA VGA x 1, DVI-D x 1

### コンパクトに実現

大規模構成時のための  
高密度版 : B-type  
コンシューマ用途を想定  
した簡易版:S-type

### S-type

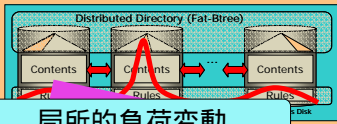
パーソナル/エッジストレージを想定

BASEコンピュータ IPC60GII  
DISK容量 100GB  
LAN 100Mbps x 1  
VGA x 1  
USB2.0 x 2



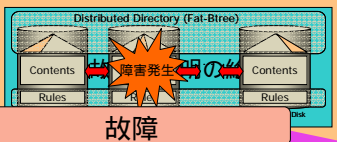
## デモの紹介

- ・環境変化に即した自律的データ移動
- ・ディスクが相互に監視し合うことにより現在の状態を自己診断



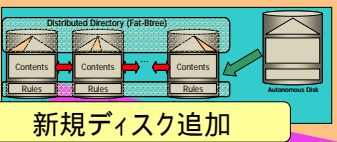
### 自律的負荷分散

データごとのアクセス頻度を計算し、ディスクごとのアクセス頻度が均衡化するように、データを別ディスクに移動させる



### 自律的リカバリ

別ディスクに冗長化されていたバックアップデータを用いてデータを損失することなくサービスの提供を継続することが可能



### 自律的構成変更

新規ディスクが追加された場合に、システム構成ディスク台数の変更にとまらぬ、新規ディスクにデータを分配する



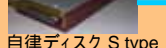
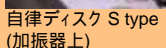
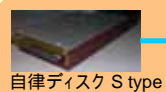
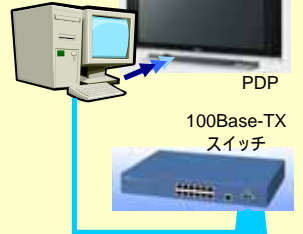
### 自律的データ退避

WRITEエラーの頻発を自動検知し、格納データを別ディスクにあらかじめ退避することでエラーから故障に発展してもデータが保護される

## デモシステムの構成

コンテンツの取得・再生

クライアントPC



システム状態表示